2005（平成17）年６月発行

中城村　見つめよう　わたしたち　みんなのぎかい

議会だより

題字：與那覇 朝徳 議員

“繁盛”に向け一路邁進する南上原開発地区

目　次

■ 平成16年度12月定例議会　2
■ 平成16年12月定例議会一般質問　3
■ 平成17年度３月定例議会　8
■ 平成17年3月定例議会一般質問　10

第11号
平成16年・17年
12月・3月議会

〒901-2493 沖縄県中城村字当間176番地　TEL895－4318　FAX895－4358
発行／中城村議会　編集／編集特別委員会　印刷／沖印社

平成16年第 12月定例議会

可決

一般会計補正予算（第4号）
補正額 3億4,171万円を減額　予算総額 51億4,486万3千円

可決

国民健康保険特別会計　補正予算（第2号）
補正額 601万8千円を増額　予算総額 17億1,165万1千円

可決

公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
補正額 5万4千円を増額　予算総額 3億4,974万円

可決

土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
補正額 595万4千円を減額　予算総額 10億7,868万3千円

平成１７年第2回臨時議会（平成１７年2月7日）

中城村ふるさと基金の設置、管理及び処分に関する条例及び中城村地域福祉基金条例の一部を改正する条例

可決

一般会計等で歳計現金が不足したときに基金から繰替運用により現金を一時借り入れ、資金管理事務の効率化を図る。

平成１６年　度中城村一般会計補正予算（第5号）について

可決

補 正 額　2億56万円増　　予算総額　53億4,542万3千円

平成１７年第3回臨時議会（平成１７年2月24日）

賛成多数　可決

中城村・北中城村合併協議会の廃止

北中城村長からの申し出により提案された「中城村・北中城村合併協議会の廃止について」は賛成多数により可決された。
（同議案は、北中城村議会に於いては2月7日に議決済み）

賛成多数　採択

中城村・北中城村合併協議会の廃止（請願）

島袋稔氏、ほか3名から中城村議会に提出された、「中城村・北中城村合併協議会の廃止に関する請願」は、議案第8号「中城村・北中城村合併協議会の廃止について」の可決を受け賛成多数により採択された。

一般質問

平成十六年十二月定例議会

行財政運営の確立

新垣徳行議員

み込んだ行財政改革を徹底していく考えである。研修制度を充実させ、職員の資質向上を図り、事務処理能力を高め行政の効率化に努めます。現行の定期昇給制度（六十才まで）を十七年度から停止年齢退職時の昇給制度も含めて見直しを確実に実施します。

新垣議員　十七年度予算の確立をどう取り組むか伺います。

村長　昨年にまして人件費、物件費、維持補修費等、一層の削減を図り、住民ニーズに答えていきます。歳出をカットして歳入と歳出を見合うような予算編成もやむを得ない段階にある。

新垣議員　年次的に計画された事業推進と住民ニーズの行政運営を従来どおり維持できるか伺います。

村長　人件費、物件費等での一層の削減を図り、住民ニーズ、福祉の低下にならないような行政運営を努力します。

新垣議員　今後の財政確立の安定化を図るには大胆な行政改革が必要と思いますが、どう取り組むか伺います。合併問題とも絡んで大変重要な課題である。

村長　三位一体改革による行財政危機の中で生き残るには、合併の実現こそ多面にわたる削減効果が期待できるし、大胆な改革であり合併実現に最大限に努力することと、今後は前倒主義にとらわれることなく、踏と住民負担についてはどのように考えているか伺います。

村長　今後の財政の確立については、従来踏み含めなかった領域まで踏み含んだ行革を行い、わたり、そしでかさあげ、昇級停止問題等々のあるべき姿に戻して事務事業の遂行に努力する。住民負担についてはサービスは高く、負担は少なくと言う時代ではないと思う。今後は受益があればかならず負担が生ずるこういう意識を行政はもちろんですが、住民の皆さんも理解しなければいけないと考えている。

新垣議員　基金運用についてどのように考えているか伺います。

村長　基金設立目的に併せて運用し、必要に応じて繰替え運用することも重要である。

老人福祉

与那覇朝徳議員

与那覇議員　平成十七、十八両年度にわたって、健康、老人、介護、保険事業を含めての諸施策について総括的な村長の基本スタンスを伺います。

村長　平成十七年度国民の健康づくり介護予防対策、平成十八年度の高齢者介護と障害福祉事業の統合を前提とした。介護、福祉拠点整備について、労働省は国民一人ひとりが生涯にわたり元気で活動的な生活が出来る、社会構築のため「健康フロンティア戦略」を推進する。

○健康づくりプログラムの提供

○生活習慣改善の指針策定

○地域、職域連携し専門相談や保険者による保険事業の共同実施

介護予防対策の推進

○既存の介護予防拠点の改修支援

○介護予防センター研究センター設立

○認知症高齢者を抱える家族支援プログラム構築等が平成十七年度に推進する事業

十八年度は

○地域介護福祉空間整備等交付金「創設」

○小規模多岐の拠点や障害者向けの小規模授産施設等、今後必要な拠点の整備計画を策定する。

与那覇議員　国は各自治体の整備計画を審査し、国の具体的、基本方針に合致した計画に対して交付金を配分するが、十七、十八両年度の施策の柱となっております。これらに対し村長の基本的な姿勢をお伺いします。

村長　本村は平成十六年三月に国、県の指針に基づいて「健康中城21」高齢者保健福祉計画を策定しております。その計画に基づいて事業を実施して参る所存でございます。

与那覇議員　扶助事業は大変厳しい運営を強いられております。十四年度の国民健康税の負担額が一世帯当たり十三万四千円余、療養費は一人当たり平均二十九万一千円余、他所に比べて生活環境が劣っているとも思えないがその要因は何なのか疑問に思っています。

老人医療費の推移は平成十二年度で九億八千万円余、十五年度で十二億五千万円余で年平均七千万円余、二十四パーセントの伸びとなっております。介護保険料も高齢化の進展とともにまだまだ増大するものと考えられます。これらの状況からして扶助費の歳出抑制は喫緊の課題で、予防事業の拡充以外にその抑制策はないと考えます。監査委員からも健康管理あるいは予防事業の拡充を図る必要の指摘がなされております。村長自らイニシアチブをとって、実効ある施策を期待するものであります。向かう両年度は介護、医療、福祉の大きな曲がり角にあり、この二年間で将来の方向性が決まると考えます。村長のご所見を伺います。

村長　お年寄りが生き甲斐をもって自立した生活をするにはどうすればよいか、どんなサービスを提供すればよいかということを留意しながら「健康中城21」を策定致しました。老人保健事業、介護予防、高齢者支援事業、そのための基盤整備等きめ細かく計画を立てております。

村内のお年寄りが生き甲斐をもって自立した生活が出来るように国の施策と本村が策定した「健康中城21」に事業の推進を図って参りたいと思います。

与那覇議員　介護保険税が他市町村より高いとの問題は以前から指摘されておりまして、要介護予防、要支援にならないよう、もっと事業展開する必要はないかとの指摘を受けましたが。

村長　今ふれ会い事業は未だ六ヶ所で行われておりますが、それを出来るだけ拡充致しまして、要介護、要支援にならないよう健康寿命を延ばすように今後も努めて参ります。超高齢化社会を目前に控えて老人福祉、老人保健がいかに重要であるかをご指摘なさったと思いますので、その意を汲んでその計画に基づいてしっかり事業を行って行きたいと考えております。

電源立地推進室

宮　城　重　夫　議員

重夫議員　平成十五年十二月議会で電源立地推進室を開設したらどうかとの私の質問に対し、村当局は十六年八月臨時議会に室設置の条例案を提案し可決されました。現時点でどのような事業内容で、又、今後の方向性について伺いたい。

電源立地推進室課長補佐　十九年着工に向けて地域対策交付金の計画的な実施、予定地における地域振興計画の策定業務、地元連絡協議会と協力して諸問題の解決に努力しています。今後の方向性については、発電所立地に伴う調査研究に関する事、建設推進に関すること、立地推進計画の三本柱で業務を進めています。地域住民が安心して暮らせる町づくりを目指し又、交付金事業等の導入により地域活性化、財政と雇用創出を目標に頑張っていきたいと思っています。

海洋深層水

重夫議員　発電所建設とだきあわせて海洋深層水の事業導入は出来ないか。

村長　電力との話し合いでの結果、まず第一期目、第二期目を稼働させながら次の段階として進めてもいいのではないかと思っています。

農産物直売所設置

重夫議員　農産物直売所設置計画の目途はついていますか。又、村民への意向調査で前回の質問での答弁では調査中とのことでしたが、最終結果はどうなっているか伺いたい。

経済課長　目途は立っていません。十、十一月に村商工会、J・A中城支店に対しその件について説明し協議してまいりました。アンケートの結果については回答数が九十一名です。六十四名が利用する、二十七名が利用しないとの結果です。本村は農業センサスで農家総数は三四五戸で約三十％の回答率です。

エコ・コースト事業後の維持管理

重夫議員　エコ・コースト事業後の村として今後利活用をどう考えておられるか。現在の維持管理はどうなっているか伺いたい。

村長　積極的な利用を図るためにはどうしてもトイレ、東屋等の便益施設が必要です。こういう条件を揃えてこそ積極的に活用できると思いますが、現在の財政状況ではまだ便益施設の設置には至っていません。

建設課長　維持管理は当然事業施工者である県管理だと認識しております。県としてもこの事業が海岸整備の為、維持管理については非常に厳しい状況であります。維持管理については、予算も含めて中城村で配慮出来ないかとの相談でした。今後も協議していきたい。今月県と協議をする予定です。

分校問題

安　里　ヨシ子　議員

ヨシ子議員　本村には分校が二校あります。北上原分校、南上原分校ですが、区画整理事業のため南上分校が移転をする事になっていますが、一つの学校ができると聞いたのに又分校ですかという声があります。地域の声、父母の声が反映される事なく一部の人達だけで決め事が進められてきたように思います。幼稚園は本校一、二年は分校でおかしいという疑問の声が聞かれます。両分校の現状と課題について伺います

村長　都市計画道路が校舎の前までせまってきて都市計画の障害になっているので移転しなければいけない。予定は平成十八年四月一日です。児童数は一年八名。二年十七名、教育委員会内部で協議し、村三役と協議し決定した。村有地をまとめて一学校する方針もあり、それに従って計画をたてている。

ヨシ子議員　近くには津覇小学校と琉大付属小学校が有り、三つの小学校が並ぶ事になりますが、それへの議論はなされたのか。

村長　将来土地区画整理事業が完成すれば六千名人口が集積される方針で本校と同じ規模になるその時一校造る計画。

ヨシ子議員　上地区全体を視野に入れた将来の小学校の設計がなされたか。

村長　北上、新垣、登又、この地区を想定しての一校の設立の検討はしていない。

ヨシ子議員　合併論議の中で村長は、南上原の保留地が合併のネックになっているのなら村有地を売却してでも事業費に充てるとおっしゃっていました。土地利用という点で七千坪の南上の村有地を売って、安い所

に土地を求め北上原方面に小学校を建てれば上地区全体の利益になると思いますが。

村長　南上原は急激に人口が増えてくると期待している人口の集積しつつある現在進行形の街に早く分校をつくる必要性を認めていただきたい。分校の位置ですが、平成三、四年ごろに決められていた規定方針であった。分校は負の遺産と考えているんでしょうか、存在感を認めている。

ヨシ子議員　中城は、住環境としてはすばらしい所だが、子供の教育となると大変な不便を感じる。安心して子育てができない。子供達の精神的負担も大きい、そこで教育長が努力なされば越境入学も可能と思いますが。

教育長　税金は中城に納め、学校は宜野湾に出してまかりならんと市議会で問題となり認めない方針になった、いじめとか特別な子に対しては両市町村の合意の下に認められる事もあります。

生活習慣病

比嘉昭典　議員

比嘉議員　生活習慣病は糖尿病、高血圧、高脂血症、脳卒中、心臓病、病気であり、医療保険を押し上げる主な要因となっている。村当局は、この習慣病の予防対策をどのように実施して行くのか。

村長　本村も高齢化が進み、医療費や介護費が増大し壮年期以前からの生活習慣病改善を重視した施策が必要であり、平成十六年度に健康中城二十一を策定し、生活習慣病の目的にあった事業を展開する事としている。各課の関連事業は担当課から答弁させます。

健康福祉課の事業として、健康維持増進としては、健康カレンダーを作成し意識啓蒙活動、保健士による役場窓口相談を実施しております。また、予防対策事業としては、住民検診、人間ドックを実施し、その検診結果の説明会、医師の栄養指導、保健士による健康教育、管理栄養士の指導等を行っている。

生活習慣病予防と学校給食の関わりについて、現在の食生活の多様化が進むなかで、生活習慣病の若年化等、食に関する健康問題が引き起こされている中で児童生徒の心身の健全な発達のために、カルシュウム、鉄、ビタミン、食物繊維の献立を工夫して給食だよりを通じて保護者に対し啓発活動を行っている。

道路行政

比嘉議員　日本石油精製（株）の廃業によって、村道泊浜部落線改良工事がとん挫しておりますが、今後の企業誘致、企業立地指定地域の指定に村道泊浜部落線の重要性が増すものと思われますが今後の、泊浜部落線改良工事計画について。

村長　泊浜部落線について、平成三年度から石油貯蔵施設立地対策補助事業で四割ほど完了しまして、平成九年の終了時点において、一端事業を中止ということで六一四メーターが未完成として残っている。日本石油精製（株）の貯蔵量原油の補助事業打ち切りと、その後、財政事情の状況等で事業再開のめどがたっていない。

無縁仏

比嘉議員　中城城址公園内の無縁仏の整備について、村長は議会や合併説明会の中で村内のメモリアルパークの一角に整備していくとの答弁をなさっておりますが、その進行状況について。

村長　指摘がありましたように、そういうお答えを申し上げましたことを鮮明に覚えています。平成十六年度の予算編成の際に、総事業費四五〇万円の予算要求書が提出された経緯があります。目下の財政の厳しい折からどうしても予算のやりくりが出来ず保留されたままになっています。財政が好転しつつある時には、これは優先課題の一つとして考えております。

北中城村長選挙の結果

比嘉定栄　議員

定栄議員　選挙の結果、合併の反対を主張した候補者が当選したことにより、両村合併は厳しくなったと思うが、村長の所見は。

村長　選挙というものは、委員ご承知のようにいろんな要素、要件が複雑に絡み合って結果が出てまいります。一概にその票数、票差でもって判断はできない場合があるんです。危険で、むしろ歪曲してしまう恐れがあるというふうに思います。

定栄議員　合併できない理由は、中城村側に問題（南上原地区区画整理事業で北中城村民一人当たり一万円の負担増）があると指摘されたことに対し、行政の責任者としての見解は。

村長　本当に憤りを押さえきれない状況であります。いまは相手が問題を提起するに一々答えていくという水掛け論や、論争をする時期ではないと思います。私は合併を成功させるために、頑張るという意志を固めております。今はその憤りを押さえ、努めて妥協点を見いだすべく努力をしていきたいと考えております。実に一方的な資料で持って選挙戦を戦っている事に対して遺憾であります。

「中城城跡」共同管理協議会の運営

定栄議員　中城城跡の発掘調査、修復に関しては、県、国文化庁八割、中城村二割（北中城村〇割）の出資割合、また専門員の派遣費は中城村で全額負担しています。過去の収入は。

村長　入場観覧料は平成七年から十五年まで九年分で

約一億九千万円です。これは委員が指摘のように両村に折半されております。

定栄議員　中城城跡の管理、運営費用のほとんどを中城村が負担しながら、入場観覧料の一億九千万円を北中城と折半する事は、村民は大変な不利益です。収入を折半にした理由は、中城村民が不利益になるなら、管理協議会は解散をしたらどうかと考えますが。

村長　共同で管理している関係で折半になっています。城跡の整備修復発掘調査は属地主義という事で中城村と文化庁で行っている。

　両村合併を進める立場から、私は今の時点では管理協議会の解散は考えておりません。

村職員給与

浜田京介議員

浜田議員　村職員の退職金のかさ上げ措置や、わたりとよばれる特例昇給、及び、五十五才昇級停止について、村長の見解を求めます。

村長　退職金のかさ上げと、わたりとよばれる、特例昇給については、早速、職労と交渉を開始し、平成十七年度から廃止していく方針であります。また、五十五才昇級停止については、職員の不公平感を補うために、五十八才昇級停止等の、段階的な改善策になるかと思います。

浜田議員　職員の不公平感のために、五十五才に戻せないというのは、行政の勝手な都合ですよ。住民の理解は得られない。再考すべきだと思うが……。

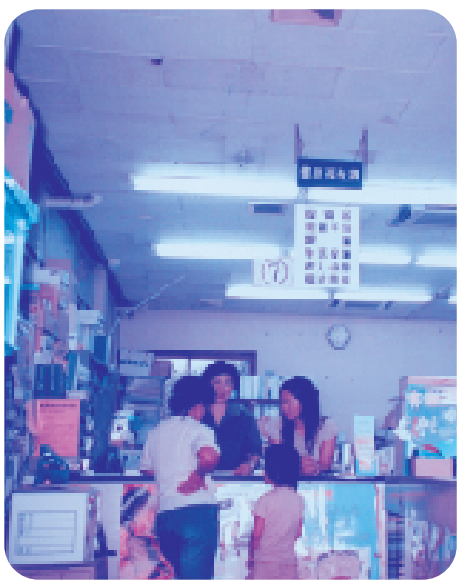
村長　職労とも話し合い、浜田議員のおっしゃる方向で、進めてまいります。

市町村合併

浜田議員　合併の期日が迫りつつある中、北中城村の新村長は、合併慎重論を打ち出しているが、今後村長は、どういう覚悟で挑んでいくのか。村長の決意を伺います。

村長　新村長と早めに話し合いの場を持って合併実現に向けて、進退を賭けるぐらいの気持ちで、頑張っていこうと思っています。

浜田議員　住民アンケートでは、最上位であった、宜野湾を含めた広域合併の道を、あえて捨てて、北中城との合併の道を選んだわけですから、絶対に失敗は許されませんよ。それだけは言い添えておきます。



笑顔で住民への対応

子育て支援及び児童虐待

浜田議員　先日、沖縄市で大変悲しい、児童虐待の事件があったが、本村においては、虐待の事例はあるのか。

健康福祉課長　三件ほど連絡情報をもらい、児童相談所にも報告してあります。

浜田議員　今の報告を聞きますと、本村においても決して、対岸の火事ではないということです。今後、どのように取り組んでいくつもりか。

村長　民生員の方々や、地域の方々と密に連携して、子育て支援を含めて、子供が育ちやすい環境づくりに努力していきます。

　他に、東陽バス五九番線廃止についての質問もありました。

電源立地に伴う地域住民説明会

宮城治邦議員

宮城議員　十一月二十九日、三十日の二日間に亘り泊、久場区において、電源立地等の住民説明会が開催されましたが、それぞれの住民からはどのような意見や要望がありましたか。

村長　電源立地交付金、土地利用計画、仮設ヤード、環境影響評価、架地用地の面積と民家との距離等について二十三件の質問がありました。

宮城議員　電源立地を推進する上で大切なことは地元、地域住民の合意形成だと思うが、説明会において、住民合意を確認できたと思うか。

村長　地域の理解度は初期段階から中期段階、あるいは後期段階に進んできていると考えております。

宮城議員　地元住民がこれまで不安に思っている問題点について、これまでの沖縄電力との協議で具体的な対応、対策を検討されて来たか。

村長　発電所建設工事中の問題、それから完成後の問題等々も含めて、騒音、振動、粉塵等々の公害防止協定を早く進めていきたい。火力発電所の青図面については今提示できる段階ではないとのことでありますので、ご理解を頂きたいと思います。

宮城議員　電源立地周辺の土地利用見直し計画について、具体的な構想はできているか、また、住民及び地権者との説明会の予定はあるか。

課長補佐　地元連絡協議会の意見を聞いて、更に修正があれば修正をしまして、年明けに泊、久場区の住民説明会を予定して、その中でおおよその土地利用計画書を図案化して説明していく方向で計画しております。

宮城議員　平成十九年度に発電所建設が着工予定されていますが、電源立地促進対策交付金七億九千二百万円の交付金事業の内容について検討や作業が進んでいるか。

課長補佐　地元の合意形成などをクリアーしなければ着工することはできないと認識をしております。また、アンケート調査を実施して、諸々のものを加味しながら平成十九・二十年度以降の促進対策交付金については事業計画をこれから策定していきたいと思います。

宮城議員　電源立地周辺の久場集落内の生活環境排水施設の整備事業及び護岸側排水路の不法投棄や土砂、ヘドロ等による悪臭対策改善の予定計画はあるか。

村長　それの一環として、補正に泊側を上げた訳でありますが、早急に整備をしていかなくちゃあならない課題だと考えております。

宮城議員　電源立地を契機に企業誘致を促進し、雇用の創出及び地域の活性化に資するための方策として産業高度化制度導入について質問致しましたが、産業適地の指定は受けられたか、確認をしたいと思います。

課長補佐　平成十六年四月に工業適地に向けての予備登録をされていると聞いております。本登録になりますと、どおうしても基準に合致しなければならないとのことで、今県と調整を進めている段階であります。

低い保育行政の予算執行率

仲　眞　功　浩　議員

仲眞議員　すこやか保育サービス関連の予算の執行状況は、平成十三年度が三一・七％平成十四年度が五十・四％、平成十五年度はなんと二六・二％でしかありません。村長はこのような状況をどうとらえているのか。

村長　文書で持って呼びかけても集まらない保育所が何ヶ所もあるので、呼びかけ方、啓発を強く行っていきたいと考えています。せっかく計上しておきながら執行率が二六・二％とかでは厳しい指摘を受けても致し方ないと反省をしております。

仲眞議員　執行率の悪さは、説明会にも来ないし利用もしない。要するに全ては認可外保育所の当事者が悪いという感覚ですよね。何故利用しないのか、現場の声というのを拾ったことはあるのか。

健康福祉課長　毎年一、二回文書で連絡を取って説明会に出席するようにとやっていますが、出席者が少ないという状況です。文書、あるいは電話等で通知して補助事業を受ける方が当然こっちに来て補助金申請もするべきだと考えています。

仲眞議員　これが本当のサービス、納税者に対する補助のあり方ですか。来るなら出してあげる。来ないのが悪いんだと。この態度ですよね。これが嫌でみんな申請してないんですよ。なんで来ないのか、なぜ集まらないか把握しない。村長は、村民に対するサービスというもの全てをそういう捉え方でやっているのか。

村長　役場は最大のサービス機関であるとよく言われます。来ないから、来ない者は利用しないと拒否しているというような受け止め方であってはいけないと考えます。もう少し当事者の声を聞く必要があるように思いますので、課と一緒になって各無認可保育園の園長さんと直接お会いして、なぜ利用しないのかということについてもう少し詳しく意見をお聞きしてみたいと考えております。

届かない村民の声

仲眞議員　去年十二月、公立保育所と認可外保育所の格差是正についての要請をしてありますが、村長はどう取り扱っているのか。話し合いをなされたかどうか伺います。

村長　決裁をして担当課の方に回してあります。

仲眞議員　担当課に伺います。その要請に対してはどういう取扱をなさったのか。

健康福祉課長　この要請文書については見ておりません。

仲眞議員　これが実態ですね。村民の声というのはこういう扱い方しかされない。見てないということですね。

（今後も追及していきます！）

中城公園整備計画及び城跡管理

中城城跡を核とする中城公園整備計画は、県の琉球歴史回廊構想推進事業の中で、「中城公園整備事業」として平成十三年度認定事業として基本計画が策定され県と中城村により事業が進められている。一方中城城跡の管理運営に関しては、平成六年に中城村と北中城村の一部事務組合「中城城跡共同管理協議会」を設置して事業を実施している。しかし、合併破綻が現実のものとなってしまった現在、それらの計画、事業に対して両村の利害が現実の問題として表面化してきたと言わざるを得ない状況になってきている。

とりわけ中城村にとっては、これまで大きな思いやりを北中城村に与えてきた経緯があり、合併の実現性が消えた今、又三位一体改革で今後ますます厳しくなっていく財政状況を考えた場合、「中城公園整備計画」、「中城城跡共同管理協議会」のあり方を、核となる中城城跡の九十％以上を占める中城村が属地主義を全面に押し立てた対応、見直しに早急に取り組まなければならないと認識する。

中城公園整備計画、中城城跡共同管理協議会の見直しのためのプロジェクトチームを早急に立ち上げ取り組むことを臨む。

平成17年３月定例議会

可決

平成16年度一般会計補正予算（第6号）

補正額 4,599万2千円を減額　予算総額 52億9943万1千円

可決

平成16年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

補正額 1億1,964万円を追加　予算総額 18億3,129万1千円

可決

平成16年度老人保険特別会計補正予算（第3号）

補正額 1億6,800万円を追加　予算総額 14億718万5千円

可決

平成16年度土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号）

補正額 5,853万5千円を追加　予算総額 11億4,063万8千円

平成17年度 一般会計予算

賛成多数 可決

総額 52億2,778万1千円

㋑ 対前年度比3.3%の増で、主な要因は南上原分校の防音工事及び学校給食共同調理場の新増改築事業に伴うものである。

㋺ 臨時財政対策債が大幅に落ち込み（23%減）それを補うために目的基金等を取り崩し、収支のバランスを取っているが今後予想される支出に備えての財源は確保されているか疑問である。

㋩ 平成18年度以降の財政運営を考えた場合、財政調整金等の残高も底をつき大変厳しい状況が予想される。早急に行政の徹底した見直しを図る必要がある。

※今後は自主財源の確保、経費の徹底した節減と合理化、事務事業の見直しが急務である。

平成17年度 特別会計予算

土地区画整理事業特別会計予算
総額　9億5,347万7千円

可決

・対前年比で1億2,835万4千円の減で、主な要因は国庫補助金1億3,500万円の減及び一般会計繰入金668万6千円の増によるものである。
・事業の平成17年2月現在で進捗率51%保留地処分率9.1%で物件補償の関係で着工が遅れ、完成予定年度も平成21年度に延長申請がなされた。
・今後の事業執行については保留地の処分による事業費の捻出と公営企業債等を借り入れ、先行投資を行い、整備を早急に進めて完成を図る必要がある。

公共下水道事業特別会計予算
総額　3億5,186万9千円

可決

・対前年比で440万2千円の増で、主な要因は諸収入203万5千円、村債19万円の減と一般会計繰入金726万円の増によるものである。
・共用開始区域の接続可能数589件に対し、加入戸数59件で接続率10%と非常に低い状況にあり、積極的な取組が必要である。

水道事業会計予算
総額　3億8,976万7千円

可決

・対前年比で753万8千円の増となる。
・水道事業開始以来30年、施設整備の全体計画を早急に確立すべきである。
・消費税導入を検討する必要がある。

当間地区ふれあい事業

可決

国民健康保険特別会計予算
総額　17億425万4千円

・対前年比 4,885万1千円の増で、老人保健拠出金 1,788万9千円、保険給付費 1,654万3千円、介護給付金 1,205万3千円の増が主要因。
・特に高額療養費の伸びが著しく、生活習慣病の対策が急務。

可決

老人保健特別会計予算
総額　13億5,255万5千円

・対前年比 1億2,842万7千円の増で、主な要因は医療給付費の増加による。
・医療給付費の増加が著しく、高齢者に対する保健・予防事業の充実が急務。

一般質問

平成十七年三月定例議会

合併失敗における村長の責任

浜田京介議員

浜田議員　合併の失敗により我が中城村は何の恩恵も受けられずに、単独でこの財政難を乗り切らなくてはならなくなったが、村長はどう責任を感じておられるか。

村長　村民に対し、大変申し訳ないと思っております。

浜田議員　責任を感じているのなら、責任のとり方を住民に示すべきではないか。

村長　この財政難を乗り切って、活力ある村づくりに頑張ることが、私の責任であると、考えております。

浜田議員　合併破綻により、総額三〇〇〇万円以上も無駄な経費を使ったのだから、きちんとけじめをつけないと、住民の理解は得られないと思うが…。

村長　心情的には村民に対し、申し訳ありませんでしたとお詫び申し上げたい気持ちです。

浜田議員　あえて聞きますが、合併失敗の責任はとらない、とる姿勢はないということか。

村長　私に法的な責任とか、行政上の責任をとれというのは酷ではないかと考えます。

行財政改革

浜田議員　村職員給与の五十五才昇給停止に、経過措置が盛り込まれているが、経過措置なしで即、実施することはできないのか。

村長　国も平成十一年から実施しているので、遅ればせながら本村も国に準じて、

実施していきたいと思っています。

浜田議員　村長自身が、危機意識を持たないと、行革はうまくいきませんよ。新生中城のために、住民、議会、行政が一丸となって共に頑張っていきましょう。

児童虐待

浜田議員　児童虐待防止法の改正に伴い、本村としては、今後どう取り組んでいくのか。

健康福祉課長　今後は市町村が相談窓口となって、児童相談所と連携するよう、義務付けられています。

浜田議員　早期発見のための、受け皿づくりは進んでいるのか。

健康福祉課長　早めに、窓口に専門職をおいて、早期発見につとめていきます。

浜田議員　この問題は事が起こってからでは、遅いということを認識してもらいたい。自治会やＰＴＡ等、地域の方々と密接に連携を深め、情報の共有化につとめて、未然に防止できるよう、希望します。

公共下水道

新垣健二　議員

新垣議員　公共下水道は平成十四年度より供用開始がなされておりますが、まだまだ接続率が低く、将来、村の財政にも大きな負担になると思われます。接続率を上げていくことがこの事業の今後の課題だと思いますが、それについてどのような取り組みをなされるのか伺います。

都市計画課長　本村の下水道事業は、全体計画が平成八年から平成二十七年までであります。一部供用開始が平成十四年一月から行われておりますが、これまでの接続件数は五十九件であります。村民に対する広報活動は、看板設置、懸垂幕によるアピール、九月十日の下水道の日に佐敷町、与那原町、西原町と協力をしながら広報活動をやっております。

新垣議員　この下水道事業は工事の段階でも住民の生活道路に穴を掘って管を埋めて工事を進めていきますので、ある程度住民の生活にも支障が出てくると、また村の工事が終われば自宅の敷地内の排水設備工事を自己負担でやって村が設置した公共ますに連結をして下さいということですので、住民一人一人の理解と協力が大変重要な事業であると思います。そこで本年度、津覇地内の供用開始が行われるのか、一部工事が行われてない力所がありますが、なぜ工事ができなかったのか。そして区民に対して供用開始についての説明会を開く予定はあるのか。

都市計画課長　津覇地区に関しましては、県の下水道工事と関連がありまして、県の工事が終わり次第、平成十八年度を目処に供用開始する予定であります。それから工事が遅れている、国道から上の地内、一部国道沿いに関しましては、国道の横断がありますので国道整備、舗装が間に合わないということで五年以上はかかるだろうという状況にあります。住民説明会に関しましては、自治会長を通じチラシ等を配布しながら、充分説明をしていきたいと思います。

新垣議員　以前企業局の工事で住宅にヒビが入り住民に迷惑が掛かったことがあると思います。今回のこの流域下水道の幹線の工事においては、企業局と充分に協議をして、住民に迷惑が掛からないようにやっていただきたいと思います。

地質調査

公共下水道

喜舎場健司　議員

喜舎場議員　本村も平成八年度より、中城湾の水質保全と村民の快適な生活環境を確保することを目的として公共下水道事業に着手し、平成二十七年度を計画目標年次として現在事業が盛んに進められております。しかし上地区（登又・新垣・北上原・南上原の一部地域そしてサンヒルズタウン）が、今回の事業の対象外となり外された理由は何か。また今後上地区の下水道事業計画はどうなっているのか。

都市計画課長　平成十年度県の汚水適正処理構想事業計画に基づいて、新垣地域は農業集落排水、登又、北上原地区は伊佐浜下水道管轄となっている。

喜舎場議員　計画対象外とされた理由についての答弁はありませんでしたが、傾斜地が多く民家が点在的で合理的でないというのが外された理由だろうと思われますが、平成十年度の見直しで新垣区域だけ農業集落排水となり、伊佐浜下水道管轄と整合がとれなかった理由は何か。

都市計画課長　新垣については密集地域だということであり、充分農業集落排水で整備できるだろうとの考え方だったと思います。

喜舎場議員　今の事業、平成二十七年度を目標に進められているが、終了後、間をおかずに上地区の事業に着手できるような計画はできないか。

村長　上地区につきましては、やはり議員ご指摘のように地形上の問題、民家の点在化そしてどのぐらい費用がかかるか等、総合的に勘案し下水道総合計画の中に組み込めるかどうかこれから検討していきたい。

喜舎場議員　今、世界規模

で環境汚染破壊が大きな問題となっております。そのような観点から考えると下水道も接続の義務化や罰則規定も制定されるのではと考えられますが、村長の所見は。

村長　是非位置づけしなければならないということと、地域負担のことも含めて、地域と連携をとりながらやっていきたい。

喜舎場議員　この下水道計画というのは全村域、全村民を対象にして作成されているだろうと思いますので、今後上地区についても本当に真剣に考えていただきたい、そして全村民が快適な環境の下で生活できますように素晴らしい中城村をつくっていただきたい。

村長　かなり厳しいかなということは議員ご承知のとおりでありますが、しかし公平、公正、同一村民であり、そういう意味からはあらゆる手段を講じ、費用、技術そこら辺は総合的に勘案をして検討したい。いずれにしてもそのまま放置はできないということだけは私も共通して認識をいたしております。

平成十七年度施政方針

知　念　政　光　議員

知念議員　行政改革の断行について、更なる組織機構改革、事務事業の見直し、組織運営の合理化、職員の意識改革を行うということですが具体的実施計画はどのようなものですか。

村長　組織機構改革の面では、課の統廃合を行ったがこれからさらに簡素化、合理化の余地がある。事務事業の見直しは、社会福祉協議会の分離、独立とか、中城城跡共同管理協議会の維持管理上の見直し一部事務組合の見直し等を行う。組織運営の合理化は農業委員及び議会議員の定数問題等を外部委員会に諮問致しまして、その結果を議会で検討していただこうと思っております。一番難しい職員の意識改革の問題でありますが職場研修等によりまして、今後財政悪化による職員待遇の低下が避けられない中で住民サービスを低下させることがないよう、与えられた枠内で一生懸命頑張るしかないということを自覚していただく以外ないと思っております。

知念議員　次に南上原土地区画整理事業について、平成十九年度で補助金は終了するがその後はいかにして平成二十一年度に事業完了させることができるのか。

都計課長　補助事業が終了する平成十九年度以降に公営企業債等を借入て進めていきたい。

知念議員　南上原土地区画整理事業を完成させることによって多大な税収を得ることができることを資料が示している。村民税でみた場合平成十一年度は七四六万余円であったが、平成十六年度は千八百万円余となっている。これは実に二百三十五％の伸びである。又固定資産税をみた場合平成十二年度で三千四百六十万円余だったが平成十七年度は五千八百万円余になって、これは二千三百四十万円余の増である。村長はこの実績をどう見ているか。

村長　そのような資料はわたしもみております。あらゆる手段を講じて早めに完成させたい。

知念議員　次に県営中城城跡公園事業について、遅々として進んでないが進捗状況はどうなっているか又、博物館、特産品売場、民芸館等の建設計画の変更はないか。

都計課長　現在用地取得が全体で六十％測量関係が五・二％となっております。

知念議員　いずれにしても早急に中城側からの正門へのアクセス道路を優先して実施すべきだがどう考えていますか。

建設課長　仮称中城城跡線ということで概略設計は終えております。県に要望しておりますがまだ採択には至っておりません。それ以外に農業振興についてと、中城城跡共同管理協議会の廃止についての質問がありました。

農道整備事業

仲宗根　　哲　議員

仲宗根議員　和宇慶土地改良区の農業基盤整備事業が実施されて、二十年余りになりますが、未だ農道の舗装整備が完了していない箇所が何箇所かあります。何時までに、農道舗装整備が完了する予定なのか。また事業計画はあるのか、伺います。

建設課長　農道の舗装整備が終わっていない箇所の件については、県営和宇慶土地改良事業は昭和六十年に圃場整備が終了しており、農道の舗装についても、年次的に整備中です。ちなみに平成十六年度は津覇前原線、そして北浜、南浜原一号線、他一路線を完了する予定です。農道認定

道路については、あと五箇所あります。そして、道路台帳がまだ未整備の農道については、数箇所あります。農道舗装整備計画については、平成十七年度は、和宇慶検地原二号線、南浜原一号線の二路線を計画しています。そして平成十八年度に、北浜の添川原一号線と二号線、そして北浜、津覇、南浜原一号線を要望として、県のほうに提出しています。農道として、台帳整備がされた箇所について、平成十八年度には完了の予定です。まだ農道台帳が未整備の路線については、整備はこれからです。

仲宗根議員　二十年も経過して、事業が完了していないところが沢山ありますが、その原因は何なのか、また農道舗装の事業はどういう事業名があるか、この事業は、和宇慶土地改良区の全農道に適用できるか。

建設課長　各市町村で、そういう農道舗装整備の需要が多くて、要望しても一路線、多くて二路線という状況で遅れています。台帳整備をして、県のほうに事業採択を要望して、他市町村の状況を踏まえながら、事業採択できれば、整備はかなり進展していくのではないかと思っています。

仲宗根議員　和宇慶土地改良区、農道等を利用して、土地の見直しで家も造られ、生活道といっしょになっていますが、そういう所も早めにやってほしいと思いますが、どうですか。

建設課長　生活道路になっている箇所であれば、村としても早めに整備できるように努力したいと思います。

仲宗根議員　土地改良事業で、排水の整備はやられているが大雨や台風が発生するたびに潮垣線の道路が冠水して、生活に支障をきたしている箇所があるので排水の見直しや道路整備をして村民が快適な生活が送れるよう強く要望します。

電源立地と環境保全対策

宮　城　治　邦　議員

宮城議員　地球温暖化防止京都会議以降、地球環境対策への要望が強まっております。発電用エネルギーも排出の少ないエネルギー使用が課題であります。発電用施設周辺地域の環境保全対策の実施計画は。

課長補佐　環境保全対策は地域住民の生活の立場から充分対策を考えていかなければならないと言うことを認識しておりまして、地域住民の意見を聞いて、環境保全対策計画書を作って対応していきたいと思います。

宮城議員　電源立地等促進対策交付金が平成十八年度から活用予定されていますが、環境保全対策を中心とした事業に活用する考えはないか。又、実施計画は何時提示されるか。

村長　村の地域活性化構想策定調査も一通り終え、電源立地地域における地域振興計画書の策定も一通り終えました。電源立地等促進対策交付金事業計画も早急に策定をして参りたいと考えております。

久場地区農地保全事業

宮城議員　農地を保全していく為には農道と排水路が不可欠であります。ところが賀武道線に連結される予定の道路が三カ所とも未完成であります。それぞれ何が理由か、事業継続の予定はあるのか。

建設課長　昭和六十二年度の農地保全事業で地権者との合意形成に努めて参りましたが、理解が得られず、今日に至っております。事業の再開等については、所管が県営ですので県と協議致しまして、後日返事をさせて頂きたいと思います。

宮城議員　久場真尻原の農地保全事業について、一帯の排水路は幅が狭く、土石等の堆積で浅く、大雨の時には氾濫して農地等に水害をもたらしております。十数年前に計画があったと聞いているが。

建設課長　計画資料は今の段階で探せないが、その状況を踏まえて、今後整備がどう言う手法で可能か検討していきたいと思います。

宮城議員　生活排水路の改善は環境保全の目的からも電源立地交付金と関係なく早急に施工改善されるべき問題だと思うが、何時から調査をして施工されるか。

建設課長　質問にあるように、国道から海岸側の集落については、過去から今までそう言う事業投入がなされてなく、整備すべき箇所は多くあると認識を致しております。随時地元と協議をして整備をしていきたいと思っております。

中城城跡共同管理協議会のあり方

宮城議員　合併が破綻した今、中城村の利益を考えるべきではないか、現状では中城村は不利で何の恩典もありません。この際、両村は境界線を明確にし、中城城跡を中城村単独で管理運営をすべきではないか。

村長　私も気持ちとしては全く同感であります。運営管理を見直していくと言うことは北中城村側にも問題提起しておりまして、規約改正、観覧料、城跡の整備等々の問題は抜本的に見直しをしていきたいと考えておりますが、境界線を設けて、単独でやっていくことについては今のところは考えさせて頂きたい。

宮城議員　世界遺産中城城跡を観光資源として生かして行くには専門的な知識が必要であります。経済課に観光産業を推進する為の観光推進チームを設置する考えはないか。

村長　経済課そして商工会、文化協会等々関連する機関をネットワーク致しまして、プロジェクトチームを作って、活性化に結びつけていくことは非常に大事な提言だと受け止めております。

ゴミ焼却場のその後

安　里　ヨシ子　議員

ヨシ子議員　進入路の用地購入費の詳細について伺います。

村長　七八八平米、二七〇〇万円計上しています。

ヨシ子議員　中城村単独で買うんですか。

村長　村道となっています。中城村が支出致します。

ヨシ子議員　青葉苑の占用道路なのに中城村だけで負担するんですか、受益者負担はどうなっていますか。

村長　北中城村とは話し合いを続けてまいりました。北中にも応分の負担をしてもらうよう相談したい。両村正副管理者で話し合い清

掃事務組合の議会へ提案していきたい。

ヨシ子議員　平成十七年度中に権原を取得しないと竣工認可が取り消される事もあるという事ですが。

村長　進入路のない施設は使えないんじゃないかという事で裁判に提訴されています。

公害防止協定

ヨシ子議員　公害防止協定について案を設定し、地権者に提示なされたと答弁なさっていましたがその後どうなりましたか。

村長　平成十五年度清掃事務組合で協議にはいる予定でしたが当時、裁判がいくつも重なっていましてテーブルにつけなかった。平成十六年、関係自治会に日程調整依頼を出しています。協議の場をつくる努力はしています。

地元還元策

ヨシコ議員　還元策について村長さんは、これからでも遅くない誠心誠意尽くしてまいりますと議会で答弁なされていましたが、その後どのような話し合いになりましたか。

村長　地元に早目に要望を出してくれと再三要請し、働きかけてきたつもりですが、裁判が重なり話し合いが持てなかった。地元代表、中北清掃事務組合、両管理者を含め早めに話し合いを持ちたい。

電源立地

ヨシ子議員　沖縄電力の建設工事にともなって二万坪のヤードが必要との事で二、三ヶ月前地主の意向調査がありました。その後音さたが有りません、周辺の地権者の皆さんや付近住民は周辺地域はどのようになるのか大変不安に思っています。どのような状況でしょうか。

村長　仮設ヤードについて住民説明会、地元連絡協議会に説明、予定地主に意見調査を進め、まとめている所です。

ヨシ子議員　新聞報道にもありました、二〇〇六年に着工、二〇一〇年に運転開始という事ですが、ヤードを作る時に起こるであろういろんな問題点を整理し、地域住民、地元の人達の合意を図るよう努力してほしい。

高齢者の生きがいづくり

仲眞功浩　議員

仲眞議員　「健康中城21・高齢者保健福祉計画」では高齢者の生きがいづくりが強調されているが、十七年度予算では敬老祝金の全額カット、ふれあい事業の補助金カットが行われている。これで本当に高齢者の生きがい、健康づくりができると思っているのか。

村長　ふれあい事業の補助金五万円を一万円減じたとか、三千円の祝い金廃止という点には心を痛めてはおります。計画を着実に実践していくよう頑張っていきたいと考えています。

仲眞議員　敬老記念品の支給をいきなり八十歳から八十八歳に引き上げたが、八十歳の方が八十八歳まで健康でいられる確率はせいぜい三分の一です。どうしてそこまでいきなり引き上げる必要があったのか。

村長　私が村長に就任した平成八年の時には五百名台の八十歳以上が、いまはもう八百名台に入ろうとしております。平均年齢が県下でも男女とも五、六位になっています。

仲眞議員　高齢者の生きがい、敬老ということを考えれば、もう少し違った考えがあってもいいんじゃないかと思えてなりません。いきなり高齢者の支給対象年齢をこのように大幅に引き上げるというのは考えてほしいと思います。

社会福祉の充実

仲眞議員　社会福祉協議会、共同作業所むつみ学園の補助金が大幅にカットされました。福祉の充実が叫ばれている中、村長は社会福祉協議会とか、むつみ学園の補助に対してどういう対応を考えているのか。

村長　社会福祉協議会を来年からは完全分離独立させ、社協としての働きをもっと強化充実させたいということで局長の出向を取りやめ、他市町村並に分離独立させ、内部改革をしていくことによって窮地を乗り切っていきたいと考えております。

仲眞議員　共同作業所むつみ学園は事業費の大幅削減で大変困っております。この共同作業所は、自立しようにもできない社会的な弱者です。どんなに自助努力しても限られています。こういうところはやはりそれなりの配慮をしていただきたいと思います。

業者の野焼き

仲真議員　業者の野焼きというのは、普通一般家庭がやっている野焼きとは違い非常に怖いものがある。村長は、法的な措置も有り得るというようなことを村内の全業者に文書で警告していただきたいと思いますがどうお考えですか。

村長　野焼き防止についてチラシを配布したのはごく最近の事でありますが、ご指摘のように、各家庭以外に、特に業者に対しては特段の注意を払う必要がありますので、担当課と検討して進めていきたいと考えております。

自然災害の恐怖と十八年度に向けて

真榮城　安　宗　議員

真榮城議員　自然災害の恐ろしさをさまざまとテレビで目のあたりにした時は、決して対岸の火事ではないように思いました。昨年は集中豪雨や台風による自然災害の多発する年で、国内では新潟県中越地震により甚大な被害を受け、年末にはインドネシア、スマトラ島沖での大地震と大津波が発生して、海に囲まれた沖縄本島、離島を始め早急な自然と平和行政の確立して、少子高齢化が進む中、住民本位の地域作りを行うには今後、どのように行うかが課題であります。財政危機の現状を管理者として、村民の目線に納得できるよう説明して、意識改革の意欲を見いだして、来度予算に取り組み、実行に着目して下さい。

村長　ふれあい事業についての補助金カットの復活について、安心してというお言葉があって、少し胸にささった感じがいたしますが、ふれあい事業の補助金カットにつきましては、これまで再三、厳しいご質問とご意見を伺いました。片一方では、胸が痛むと同時に、一方では　もっと地域でお互いに支え合う、自助と互助の精神をこれからは育てていかなくてはいけないこともあります。若い人が年をとった時若い人を支えていくという、一つのリサイクル循環だと、ある意味の世代間のユイマールのことでもあろうかと。せめてカット分は、いま六地区ですので、七地区に増やしていくというか、底辺を広げていくところに力を注いで努力につなげていきたいとご理解をお願い申し上げたいと考える次第でございます。

環境衛生

真榮城議員　ゴミ処理の門口収集の五種類分別は、指導強化なされておりますが、南上原区画整理内では不法投棄が後を立ちません、宜野湾署とパトロールの一層の強化を前回同様要請を致します。容器包装のリサイクル法の制定後四つの文面を村民に周知なされチラシ等の配布はどうか、

住民生活課長　リサイクル法、家庭の中から一般廃棄物として排出される、容器汚染について、消費者、市町村、事業者の各々の責任分担を規定している。村も毎週一回、資源ゴミ、ペットボトル、プラスチック等、金属缶、ガラ瓶、段ボール箱、紙容器など、一週間に一回収集してございます。

真榮城議員　南上原区画整理内の村道、自己開発道路整備、工事外の悪道路、琉大池の上流のヒューム管が詰まって排水が池になった危険箇所については写真を提出します。

建設課長　ご指摘の箇所は、周辺より低地になっており、雨期の時期等になると排水機能が悪く、通行に支障を来たしている状況は認識をしています。

都市計画課長　沈砂等が何箇所かあります。その対策については早急に防具策等を検討して、早めに取り組んでまいります。

助役の任命

賛成多数　可決

宮城清氏の任期満了に伴い後任として、比嘉盛行氏が村長より提案され議会で承認される。

住　　所：中城村字伊舎堂144番地
氏　　名：比　嘉　盛　行
生年月日：昭和24年10月17日　生

教育委員会委員の任命

可決

教育委員長 知念清氏、教育長 仲座盈助氏の任期満了に伴い教育委員2名が村長より提案され議会で承認される。

住　　所：中城村字南上原235番地
氏　　名：仲　座　盈　助
生年月日：昭和12年8月2日　生

可決

住　　所：中城村字奥間11番地4
氏　　名：伊　佐　盛　信
生年月日：昭和18年3月31日　生

平成１７年３月定例議会

修正可決

中城村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

55歳を越える職員の昇給を廃止する（従来は、定年60歳になるまで昇給をさせていた）。

可決

中城村議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議員の定例議会、臨時議会及び委員会出席の費用弁償は全面廃止とする。

賛成多数 **可決**

中城村敬老記念品支給条例の制定

・80歳以上の高齢者への敬老祝金（3,000円）及び記念品（1,000円以内）の支給を廃止。
・トーカチ、カジマヤー、100歳以上の高齢者への記念品の金額を減額（2,000～5,000円）

可決

中城村収入役を置かない条例

中城村は収入役を置かず、収入役の事務は助役が兼掌する。

可決

中城村特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

村長及び助役の給与をそれぞれ5%削減する。

可決

中城村教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

教育長の給与を5%削減する。

平成17年第４回中城村議会定例会提出案件一覧表

平成17年3月10日

議案番号	議　　案　　名	
議案第10号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第11号	中城村課設置条例の一部を改正する条例	〃
議案第12号	中城村税条例の一部を改正する条例	〃
議案第13号	中城村現業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	〃
議案第16号	中城村水道事業給水条例の一部を改正する条例	〃
議案第18号	中城村ふるさと農村活性化基金条例を廃止する条例	〃
議案第19号	中城村地域振興基金条例を廃止する条例	〃
議案第20号	中城村表彰条例の一部を改正する条例	〃
議案第23号	平成16年度中城村一般会計補正予算（第6号）	〃
議案第24号	平成17年度中城村一般会計予算	〃
議案第25号	平成16年度中城村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第26号	平成16年度中城村老人保健特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第27号	平成17年度中城村国民健康保険特別会計予算	〃
議案第28号	平成17年度中城村老人保健特別会計予算	〃
議案第29号	平成16年度中城村土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第30号	平成17年度中城村土地区画整理事業特別会計予算	〃
議案第31号	平成17年度中城村公共下水道事業特別会計予算	〃
議案第32号	平成17年度中城村水道事業会計予算	〃
議案第35号	中城村北中城村清掃事務組合規約の一部変更	〃
議案第36号	中城北中城消防組合規約の一部変更	〃
議案第37号	津覇小学校南上原分校校舎新築工事（建築）の請負契約	〃

議員・事務局職員研修

平成17年2月2　7日、嘉手納文化センターにおいて、17年度市町村予算編成と行財政運営の課題について（講師比嘉敏彦氏）揺れ動く自治制度と市町村の改革（講師木佐茂男氏）について研修し

議 長 選 任

前議長比嘉盛安氏の議長辞任に伴い選挙の結果、新議長に比嘉明典氏、副議長には新垣善功氏が選任されました。

議長　比嘉　明典

副議長　新垣　善功

建設常任委員会 現場視察

予算執行に先立ち現場視察（歴史の道）

（３月定例議会中）

学校給食センターの新築

・30年以上がたち老朽化の著しい学校給食センターの新築予算が承認されました。補助率が低く財源が厳しい中、約４億円余をかけ、平成18年3月の完成予定で計画が進められております

編集後記

うりずんの季節を迎え草木の新芽もたくましく、色鮮やかに映えています。

十七年度も始まり、国の三位一体改革で予想以上に厳しい財政状況で、予算上具体的に数字として表れてきた年度のスタートになりました。又、中城村民の期待を裏切られ土壇場で合併が破綻したことも大きく影響していると思います。

でも、住民生活の向上、住民サービスの向上に努め、停滞することは許されません。国の三位一体改革後、今、全国各自治体は新たな方向性に向かって動き始めています。従来からの他自治体の物まねでなく、それぞれの地域特性を活かしオンリーワンの町、村を目ざして頑張っています。

努力の如何で将来地域間に格差が生れるでしょう。自らの生活空間はそこに住んでいる地域住民が独創的な町、村づくりをしなければならない時代の到来です。

浜田京介
喜舎場健司
宮城重夫
宮城治邦
仲眞功浩
比嘉定栄